

JBMS

プリンター・複合機
—ユーザーインターフェイス
—用語

Printer and multifunction device — User interface — terminology

JBMS-96 : 2026

令和 8 年 3 月制定
(March, 2026)

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

事務機器標準化委員会 ユーザーインターフェイス用語 TF

(リーダー)	岡田 三樹也	シャープ株式会社
(サブリーダー)	伏屋 健吾	コニカミノルタ株式会社
(委員)	中尾 智也	キヤノン株式会社
	小西 浩平	京セラドキュメントソリューションズ株式会社
	茂木 常浩	東芝テック株式会社
	上野 高史	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
	久保 史子	リコークリエイティブサービス株式会社
(オブザーバー)	木村 英子	セイコーエプソン株式会社
(事務局)	渡辺 靖晃	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

業界標準化委員会 JBMS 推進 TF

(リーダー)	米山 剛	コニカミノルタ株式会社
(委員)	大塚 晃次	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
	本橋 敦	株式会社リコー
(事務局)	渡辺 靖晃	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

規格番号：**JBMS-96**

制定：令和8年3月27日

原案作成：事務機器標準化委員会 ユーザーインターフェイス用語 TF

審議：一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 業界標準化委員会 JBMS 推進 TF

制定：一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 業界標準化委員会

この規格についての意見又は質問は、一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 業界標準化委員会へお願いいたします。

〒108-0073 東京都港区三田3-4-10 リーラ ヒジリザカ7階 Tel 03-6809-5010 (代表)

目次

	ページ
序文 (Introduction)	1
1 適用範囲 (Scope)	1
2 引用規格 (Normative references)	2
3 分類	2
4 用語及び定義	4
a) 入力	4
b) 出力	4
c) 送信	6
d) 画像処理	7
e) アプリケーション	9
f) 省エネルギー	9
g) セキュリティー	9
h) アクセシビリティ	10
i) 操作	10
j) 用紙種類	10
k) ソフトウェアキーボード	10
l) 情報処理端末	11
m) 共通	11
n) 部位名称	12
5 用語の取り扱い	13
解説	15

まえがき Foreword

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会は、特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

This standard is copyrighted work protected by copyright laws.

Attention should be drawn to the possibility that a part of this Standard may conflict with a patent right, application for a patent right after opening to the public or utility model right which have technical properties. The Japan Business Machine and Information System Industries Association is not responsible for identifying the patent right, application of a patent right after opening to the public and utility model right which have the technical properties of this kind.

ビジネス機械・情報システム産業協会規格

Japan Business Machine and Information
System Industries Association Standard

JBMS-96:2026

プリンター・複合機－ユーザーインターフェイス －用語

Printer and multifunction device — User interface — terminology

序文 (Introduction)

昨今のオフィス機器は、機能の多様化及び複合化の流れとともに、ますます使いやすさが重要になってきている。これまでユーザーインターフェイス（以下、UI という）は企業ごとに開発されてきた。その結果、メーカー間で操作性の違いが生じ、複数メーカー品の併設又は入れ替えの際、ユーザーが操作に戸惑うといった状況が発生している。さらに、機能の複合化によって機能ごとの用語の違いが生じてきている。UI の標準化を促進し、更に使いやすい UI を提供していくことがオフィス機器メーカーに強く求められている。

この規格の目的は、ユーザーが機器を使用するに当たり見聞きする UI 用語について標準化し、メーカー間及び製品間で一貫した操作を提供することである。

With office machines becoming multifunctional and acquiring an ever-increasing variety of functions, usability has become increasingly critical. Because the user interface (“UI”) of any given device is developed by its own manufacturer, differences in operation arise between devices. This gives rise to confusion among users, particularly when devices from various manufacturers coexist in an environment, or when devices are replaced with those of different manufacturers. Furthermore, as office machines acquire more functions, it is becoming more common for a variety of different terms to be used for the same function. There is now a need for manufacturers of office machines to promote UI standardization to ensure easier-to-use UIs.

The aim of this standard is to define the UI terms that users see and hear when they use devices, and to provide consistent operability between different manufacturers or products.

1 適用範囲 (Scope)

この規格は、複写機・複合機、ファクス、スキャナー、プリンター、オプションソフトウェアなどの、本体操作部（ハードキー、ソフトキー）、PC 画面上での操作画面、ラベル、ユーザーが取り扱う部位名称、取扱説明書などに適用する。

This standard applies to machine operation panels (hard and soft keys), PC-based operation screens, labels, user-accessible units, user manuals etc. for copying machines, multifunction devices, fax machines, scanners, printers, and other such machines, as well as their optional software.

2 引用規格 (Normative references)

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、その一部または全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

The following referenced documents are indispensable for the application of this document. For dated references, only the edition cited applies. For undated references, the latest edition of the referenced document (including any amendments) applies.

JBMS-01 複写機用語

3 分類

用語は、次のとおり分類する。

- a) 入力
- b) 出力
- c) 送信
- d) 画像処理
- e) アプリケーション
- f) 省エネルギー
- g) セキュリティー
- h) アクセシビリティ
- i) 操作
- j) 用紙種類
- k) ソフトウェアキーボード
- l) 情報処理端末
- m) 共通
- n) 部位名称

4 用語及び定義

用語及び定義は、次のとおりとする。

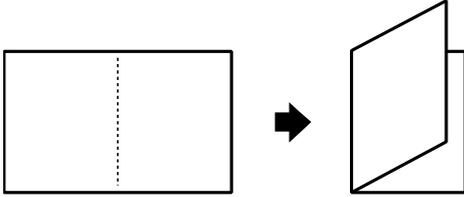
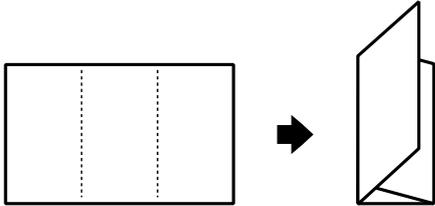
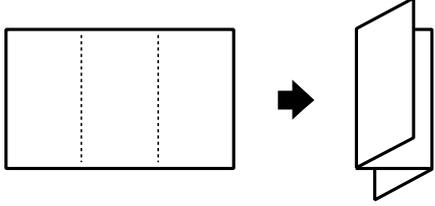
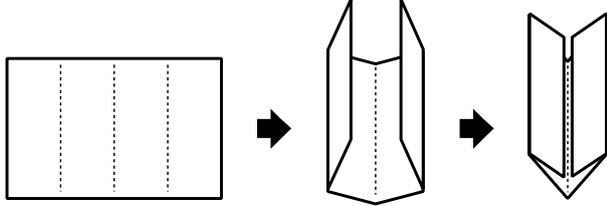
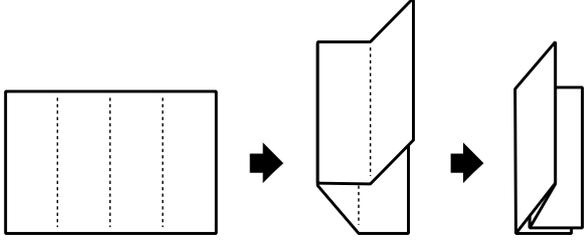
a) 入力

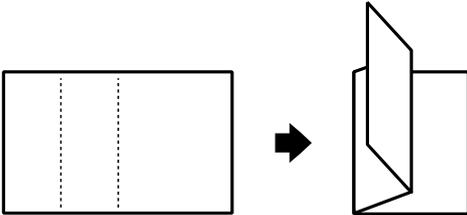
番号	用語	定義	対応英語（参考）
01001	原稿サイズ	複写機、複合機、ファクス、スキャナーにセットしてコピー、ファクス送信、スキャンする紙のサイズ	document size
01002	両面	<読取り>原稿の両面を読みとる機能	duplex
01003	読み取りサイズ	原稿を読みとる範囲（サイズ）	scan size
01004	連続読み込み	原稿を続けて読み込む機能 注釈 1 原稿枚数が多く、自動原稿送り装置に一度にセットできない場合に、原稿を複数回に分けてセットしてひとつの原稿として読み込む機能。 注釈 2 原稿を自動原稿送り装置と原稿ガラスのそれぞれに置いて取り込む場合の機能。	continuous scan
01005	白紙スキップ 代替用語：白紙ページスキップ	原稿の読み取り結果から白紙ページを除く機能	blank page skip
01006	ミックスサイズ原稿送り	サイズの異なる原稿を自動原稿送り装置から連続して読みとる機能 注釈 1 原稿台からの読み取りも含める場合は、それが伝わる表現にしてもよい。	mixed size
01007	原稿セット方向 代替用語：原稿セット向き 原稿の向き	自動原稿送り装置と原稿ガラスにセットした、物理的な原稿の向きを設定する機能 原稿の印字方向を加味した置き方を設定する 注釈 1 原稿の印字方向を加味した置き方を設定する。 注釈 2 誤操作防止のため、用語とイラストを併記するのが望ましい。	original orientation

b) 出力

番号	用語	定義	対応英語（参考）
02001	ソート	原稿と同じページ順に1部ごとに仕分けて出力する機能の総称 注釈 1 括弧で補足の用語をできるだけつける。 例 ソート（1部ごと）	sort
02002	用紙選択	印刷される物理的な紙、又はその紙が入っている用紙トレイを選ぶこと	select paper
02003	印刷用紙サイズ	印刷される物理的な紙のサイズ 注釈 1 “印刷”の代わりに“出力”を使用してもよい。	paper size
02004	用紙トレイ	<出力>印刷される紙を給紙するトレイ 注釈 1 “用紙”の代わりに“給紙”を使用してもよい。 注釈 2 “トレイ”の代わりに“カセット”を使用してもよい。	paper tray
02005	自動用紙選択	原稿サイズと倍率設定とに応じて、用紙を選択する機能	auto paper select
02006	原稿サイズと	印刷される物理的な紙のサイズを印刷対象のファイルと	same as original size

	同じ	同じ大きさにする機能	
02007	自動トレイ選択	用紙サイズ又は種類から自動的に用紙トレイを選択する機能 注釈 1 “用紙トレイ”の選択肢の一つ。 注釈 2 “トレイ”の代わりに“カセット”を使用してもよい。	auto paper select
02008	スタック 代替用語：グループ，ノンソート	ソートしないで原稿のページを指定した部数ごとに出力した紙を仕分けする機能 注釈 1 ソートする，ON/OFFなどの表現をしてもよい。 注釈 2 括弧で補足の用語をできるだけつける。“（ページごと）”など。	stack
02009	…とじ	両面出力時の面の割り付け方法 例 1 左とじ/右とじ 例 2 長辺とじ/短辺とじ	binding ...
02010	トナー節約	トナーの消費量を抑えて印刷する機能	toner save
02011	シフト排出	コピーなどの出力物を横にずらして排出することによって仕分ける機能	shift sort
02012	原稿の向き 代替用語：印刷の向き	出力設定時の論理的な原稿の向き 注釈 1 物理的な紙ではない。	original direction
02013	排紙先 代替用語：排出先	印刷された用紙を排出する部位の総称 注釈 1 排紙先又は排出先がトレイに特定できる場合は，“先”の代わりに“トレイ”を使用してもよい。 例 排紙トレイ，排出トレイ	output destination
02014	両面	<出力>用紙の両面にコピー又はプリントする機能	2-sided printing
02015	用紙種類	コピー又はプリントする紙の種別の総称	paper type
02016	パンチ	用紙の指定した位置に綴じるための穴をあけて出力する機能	punch
02017	スタンプ	原稿に[“複製厳禁”]又は[“至急”]などのマークを付加して出力する機能の総称 注釈 1 ウォーターマークには使用しない。	stamp
02018	章分け	指定したページを必ずおもて面の先頭位置に出力する機能	chapter inserts
02019	表紙	先頭ページまたは最終ページを別の用紙に出力する機能	cover
02020	合紙（あいし）	指定した位置に別の用紙を挿入する機能	insert sheet
02021	製本	冊子になるように複数ページの面付けを行う機能の総称	booklet
02022	とじしろ	製本時に必要な余白をつくるように画像をシフトさせてコピー又はプリントする機能	binding margin
02023	ポスター	複数ページを組合せることで1枚の大きな画像となるようにコピー又はプリントする機能	poster
02024	ホチキス	複数枚の用紙を金属または用紙自身を使って束ねる機能 注釈 1 “ホチキス”の代わりに“ステープル”を使用してもよい。	staple
02025	ページ集約	複数ページの原稿を1枚の用紙に割り付ける機能	combine
02026	仕上げ	ホチキス，パンチ，紙折りなどの後処理の総称	finishing

02027	二つ折り	紙を中央部分で二つに折る方法 	center fold
02028	巻き三つ折り	1枚の紙を三つの部分に分けて、端から順に巻き込むように折る方法 	c-fold
02029	外三つ折り	紙を三つに折る際に、中央の面を内側にして、両端の面を外側にかぶせるように折る方法 	accordion z-fold
02030	観音折り	紙を四つの面に分けて、左右端の面をそれぞれ中央に向けて折り、その状態でもう一度中央に向けて折る方法 	double gage fold
02031	巻き四つ折り	紙を四つの面に分けて、一方向に順番に巻き込むように3回折る方法 	double parallel fold

02032	Z折り	紙を二つ折りにし、左側をさらに二つ折りにして、左側を逆向きに折る方法 	z-fold
02033	ヘッダー	ページの上部に付加する出力ファイル名や日付などの情報のこと	header
02034	フッター	ページの下部に付加するページ番号などの情報のこと	footer
02035	余白	用紙の端から印刷可能領域までの空白部分のこと	margins
02036	オーバーレイ	文字、画像、フォームなどを印刷画像に重ね合わせて印刷する機能	overlay
02037	白紙プリントの禁止	原稿に含まれる白紙ページを出力しないようにする機能	disable blank page print
02038	割り込み	現在実行中のジョブを中断して、別のジョブを実行させる機能	interrupt
02039	試しコピー 代替用語：試し印刷	複数部コピー又は出力するときにまず1部出力し、確認した後に残りの部数を出力する機能	sample copy
02040	フェイスダウン	用紙の印刷面（表面）を下向きにすること	face down
02041	フェイスアップ	用紙の印刷面（表面）を上向きにすること	face up
02042	重送	給紙時に複数枚の用紙が重なったまま搬送されてしまうこと	multifeed

c) 送信

番号	用語	定義	対応英語（参考）
03001	宛先	送信先又は相手先のこと 注釈 1 電話番号、Eメールアドレス、共有名、ホスト名などがある。 注釈 2 Eメールでは“TO”を使用してもよい。	destination
03002	表示名	宛先を表示するときに使用する名称	display name
03003	よみがな	宛先名の読み方を表す仮名のこと	(No corresponding English term)
03004	ワンタッチキー 代替用語：ワンタッチボタン	あらかじめ名称及び又は番号を登録しておいたキーを押すだけで宛先を指定できる機能	one touch key
03005	グループ	一度に送信するために複数の宛先を一つにまとめた宛先のこと	group
03006	常用	よく使う宛先をまとめた分類の名称	frequently used
03007	返信先	Eメール受信者が返信する際に使用する宛先を指定する機能	reply-to

03008	CC	Eメールの写しのこと 注釈 1 Carbon Copy の略語。	CC
03009	BCC	他の受信者に公開されないEメールの写しのこと 注釈 1 Blind Carbon Copy の略語。	BCC
03010	送信者アドレス	発信者のEメールアドレス	sender address
03011	件名	Eメールの内容を簡潔に伝える項目のこと	subject
03012	本文	Eメールを送る目的や伝えたい内容を相手に伝えるための文章を記述する項目のこと	body text
03013	サーバー	通信プロトコル (FTP, SMBなど) を指定して, MFPがファイルを転送するときの送信先	server
03014	転送	受信した文書を, あらかじめ登録された宛先へ自動送信する機能	transfer
03015	ファイル形式	画像データの保存又は送信に使用するデータフォーマットのこと 例 TIFF, JPEG, PDF	file format
03016	Fコード送信	ファクスでITU-Tが定めた規格を使用して通信する機能	f-code sending
03017	発信元記録	ファクス送信するときに付加される送信元の情報のこと	sender information
03018	メモリー送信	送信する全ての原稿を一旦メモリーに読み込んでから送信する機能	memory transmission
03019	Eメール送信	読み取った原稿又は保存されているデータを, メールに添付して送信する機能	email sending
03020	アドレス帳	送信, 保存先などの宛先 (アドレス) を管理する機能	address book
03021	分割送信 代替用語: 分割送信サイズ	読み取った原稿又は保存されているデータを, 指定したファイルサイズ又は上限値以下に分ける機能	split by data size
03022	ファイル分割	読み取った原稿又は保存されているデータを, 指定したページ数に分ける機能	split by page
03023	共有名 代替用語: ホスト名	共有フォルダー (SMB) へ送信するときに指定するフォルダーのパスのこと	share name
03024	ポート番号	送信時のインターネットの通信でアプリケーションを区別するためにつける番号のこと	port number

d) 画像処理

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
04001	少し小さめ	原稿の全面を複製又は出力するために, あらかじめ設定してある縮小倍率に倍率変更する機能	slight reduction
04002	ズーム	縮小又は拡大倍率を規定単位で任意に設定できる機能 注釈 1 規定単位は, 通常 1%である。	zoom
04003	こく	濃度を手動で“こく”する機能	darken
04004	うすく	濃度を手動で“うすく”する機能	lighten
04005	自動濃度調整	原稿に合わせて自動的に濃度を調整する機能	auto image density
04006	定形変倍	あらかじめ設定された倍率から縮小又は拡大倍率を選択できる機能 注釈 1 “定形”の代わりに“固定”を使用してもよい。 注釈 2 “変倍”の代わりに“倍率”を使用してもよい。	reduce/enlarge
04007	文字	文字中心の原稿に適したモード	text

04008	写真	写真，絵などの階調中心の原稿に適したモード	photo
04009	文字_写真	文字と写真とが混在した原稿に適したモード 注釈 1 文字_写真の“_”部分は各社の判断で使用してよい。 例 “文字・写真”，“文字/写真”，“文字+写真” など	text & photo
04010	蛍光ペン	蛍光インクで書かれた文字及び／又はラインが，消えたり薄くなったりしないようにする機能	highlighted originals
04011	シャープネス	画像の輪郭を強調したり，ぼかしたりする機能	sharpness
04012	コントラスト	画像の明暗の差を調整する機能	contrast
04013	単色	指定した単色で処理する機能 注釈 1 使用状況によっては“単色カラー”としてもよい。 例 特に白黒と分ける必要がある場合など。	single color
04014	フルカラー	CMYK 4色以上，又はRGB3色以上を処理するモード	full color
04015	自動カラー選択	原稿の色を自動的に判別し，フルカラー又は白黒のどちらかを選択する機能	auto color select
04016	白黒	黒（ブラック）1色を2階調で処理する機能 注釈 1 2値を強調する表現を追加してもよい。	black and white
04017	グレースケール	白から黒までを多階調で処理する機能 注釈 1 多階調を強調する表現を追加してもよい。	grayscale
04018	彩度 代替用語：あざやかさ	コピー又はプリントのあざやかさを調整する機能	brightness
04019	色相	色相環の全体又は一部を移動し，色合いを調整する機能	hue
04020	カラーバランス	CMYK各色の濃度バランスを調整する機能	color balance
04021	明度	明るさを調整する機能 注釈 1 画質を調整する要素の一つである。	brightness
04022	解像度	原稿を読みとる時，又は出力時の解像度を設定する機能	resolution
04023	画質優先	解像度，階調などを上げ，速度よりも画質を優先して出力する機能	prioritize quality
04024	速度優先	解像度，階調などを下げ，画質よりも速度を優先して出力する機能	prioritize speed
04025	たてよこ独立変倍	たてよこの倍率を変えてコピー又は出力する機能 注釈 1 “たてよこ”は漢字，又はカタカナで表記してもよい。 注釈 2 “たてよこ”を省略してもよい。	independent x - y%
04027	地色除去 代替用語：地色調整	原稿の背景色の濃度を調整して読みとる機能	remove background
04028	OCR	手書きや印刷された文字を読み取り，PCなどで編集できる文字列に変換する機能	OCR

e) アプリケーション

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
05001	コピー	原稿を複写して用紙に出力する機能	copy
05002	ファクス	読み取った原稿を、通信回線を使って電送する機能	fax
05003	プリンター 代替用語：プリント	<機能>PCやUSBメモリーなどに保存されているデータを用紙に出力する機能	print
05004	スキャン 代替用語：スキャナー	<機能>原稿を読み取って、電子データに変換する機能	scan
05005	ブラウザー 代替用語：ブラウザ	Webサイトに接続し、情報を閲覧・取得できる機能 注釈 1 HTTPプロトコルでWebサイトに接続し、ファイル(文書)を格納又は取り出しなどができる機能。	browser
05006	ホーム	複写機又は複合機の操作の基点となる画面	home

f) 省エネルギー

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
06001	節電	低電力状態へ移行又は低電力状態から復帰させる機能 注釈 1 節電の度合いについては、取扱説明書などユーザーに分かる形で必ず明示する。	energy saving
06002	節電解除	低電力状態から復帰させる機能 注釈 1 節電の度合いについては、取扱説明書などユーザーに分かる形で必ず明示する。	power saver deactivation

g) セキュリティー

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
07001	パスワード 代替用語：暗証番号	セキュリティーのための手段 注釈 1 数字だけの場合は暗証番号を使用してもよい。	password
07002	…コード 代替用語：…ID, …名	ユーザーなどの管理を目的とした識別子 例 識別コード	user ID
07003	ログイン	ユーザー管理の状態、複合機やシステムの使用を開始する操作のこと	login
07004	ログアウト	ユーザー管理の状態、複合機やシステムの使用を終了する操作のこと	logout
07005	ディレクトリーサービス	認証情報やアドレス帳といった資源をサーバーで一元管理し、複合機からアクセスして利用するシステム 注釈 1 通信プロトコルには一般的にLDAP(Lightweight Directory Access Protocol)が用いられる。	directory service
07006	デジタル署名	複合機でスキャンしたデータの真正性や非改ざん性を証明するため、公開鍵暗号方式を用いて電子署名を付ける機能	digital signature
07007	監査ログ	複合機の操作日時、ログイン情報、操作結果などを記録したもの 注釈 1 不正操作や情報漏洩の対策として、複合機がどのように使用されているかを調査・分析するために使用される。	audit log

h) アクセシビリティ

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
08001	音声ガイド	操作又は状態を音声で知らせる機能	voice guide

i) 操作

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
09001	スタート	設定した又は設定された状態で機械を起動させる機能	start
09002	ストップ	動作中の機械を停止させる機能	stop
09003	クリア	入力した又は入力された数値を初期値に戻す機能	clear
09004	リセット	設定した又は設定された機能を全て取り消す機能	reset
09005	オートクリア 代替用語：オートリ セット	ユーザーが変更若しくは設定した機能又は数値が、指定された時間経過後に自動的に元に戻る機能	auto clear

j) 用紙種類

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
10001	OHPフィルム	OHP(Over Head Projector)で使用する透明なシート用紙の種類	transparency
10002	厚紙	普通紙より坪量大きい用紙の種類	thick paper
10003	普通紙	オフィスで使用される一般的な用紙の種類	plain paper
10004	再生紙	古紙を利用して作られた用紙の種類	recycled paper
10005	はがき	日本郵便で規定されている用紙の種類	Japanese postcard
10006	ラベル紙	表面の紙、シール部分、台紙で構成されている用紙の種類	label paper
10007	トレーシングペーパー 代替用語：第二原図 用紙	図面製作で使用する半透明な用紙の種類	tracing paper
10008	薄紙	普通紙より坪量が小さい用紙の種類	thin paper
10009	色紙 (いろがみ)	色がついている用紙の種類	color paper
10010	光沢紙	表面に光沢のある用紙の種類	glossy paper
10011	インデックス紙	用紙上部、または側面に見出し(タブ)がついている用紙の種類	index paper
10012	印刷済み用紙	定形のフォームなどがあらかじめ印刷されている用紙の種類	pre-printed
10013	レターヘッド付き用紙	用紙の上部にあらかじめ情報が印刷されている用紙の種類	letterhead
10014	ボンド紙	ペン書きに適した、厚手で良質な用紙の種類 注釈 1 証券などに使用される。	bond paper
10015	パンチ済み用紙	紙を綴じるための穴が開いている用紙の種類	pre-punched
10016	カードストック	厚手で耐久性のある用紙の種類 (注釈 1 名刺、ポストカードなどに使用される。)	card

k) ソフトウェアキーボード

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
11001	バックスペース	入力された一つ前の文字を削除するキー	backspace
11002	スペース	文字と文字との間に空白(スペース)を入れるキー	space

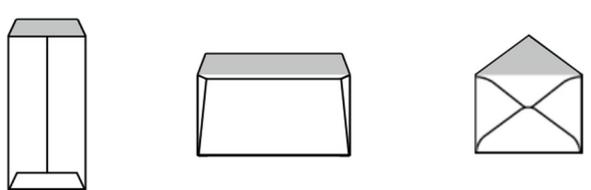
11003	変換	文字を、単語、文節などの単位で別の表記方法に変換するキー 注釈 1 “ひらがな”表記から“漢字”表記に置き換える場合などに使用する。	(No corresponding English term)
11004	無変換	文字を変換せずに確定するキー	(No corresponding English term)
11005	確定	文字の変換又は未変換を終了させるキー	enter
11006	半角	全角入力と半角入力を相互に切り替えるキー	(No corresponding English term)
11007	ひらがな	キーボードに印字された“かな”を入力する方式に切り替えるキー	(No corresponding English term)
11008	カタカナ	キーボードに印字された“かな”をカタカナ表記で入力する方式に切り替えるキー	(No corresponding English term)
11009	記号	キーボードに印字された“かな”やアルファベットや数字以外の文字を入力する方式に切り替えるキー	symbol
11010	英数	入力方法を日本語入力と相互に切り替えるキー	(No corresponding English term)
11011	ローマ字	キーボードに印字されたアルファベットを使って入力する方式に切り替えるキー	(No corresponding English term)
11012	シフト	キーボードに表示される文字を切り替えるキー 例 アルファベットの大文字と小文字の切り替え、記号の切り替えなど。	shift

l) 情報処理端末

番号	用語	定義	対応英語（参考）
12001	モバイル端末 代替用語：スマートデバイス	多機能な情報処理端末の一般名称 注釈 1 具体的には、スマートフォンやタブレットなどの総称。 注釈 2 “モバイル”の代わりに“携帯”を使用してもよい。 注釈 3 “端末”の代わりに“デバイス”を使用してもよい。また、“端末”は省略してもよい。	mobile device
12002	アプリ内フォルダー 代替用語：ローカルフォルダー	アプリケーションのデータの保存場所 注釈 1 多機能な情報処理端末のアプリケーションから指示し、複合機で原稿読み込みをするときに指定する保存先。 注釈 2 アプリケーションからプリントする際にデータを読み出す場所。	local folder
12003	ウェブページ 代替用語：Webページ	インターネット上の情報のこと	web page

m) 共通

番号	用語	定義	対応英語（参考）
90001	ジョブ	複写機又は複合機の処理の単位	job
90002	ページ数	論理的な原稿（画像）の単位数 注釈 1 “面数”は課金に関わるところ以外使用しない。	number of pages
90003	枚数	物理的な紙の数	number of papers
90004	たて、よこ	ユーザーから見た用紙又は原稿の向き 注釈 1 紙を送る方向ではない。 注釈 2 漢字又はカタカナ表記でもよい。	portrait/landscape

90005	部数	コピー又はプリントする数	set(s)
90006	ユーザー設定サイズ	ユーザーが任意の用紙サイズを指定する機能 注釈 1 “設定”の代わりに“定義”を使用してもよい。	custom paper size
90007	圧縮率	データ容量を小さくする割合のこと	compression ratio
90008	高圧縮	読み取ったデータを通常よりも高い圧縮率で圧縮すること	high compression
90009	圧縮形式	読み取ったデータを圧縮して生成するファイル形式のこと 例 高圧縮PDF	compression type
90010	圧縮方式	読み取ったデータを圧縮する方法のこと 例 1 MH 例 2 MMR	compression method
90011	ファイル	TIFF, PDFなど特定のフォーマットで生成されたデータ, 及び複合機内のハードディスクなどに保管して運用するデータの総称	file
90012	文書	複合機内のハードディスクなどに保管して運用するデータの総称 注釈 1 “ファイル”と使い分ける場合に使用する。	document
90013	言語	使用している表示言語を設定・変更する手段及び機能 注釈 1 機能及び操作を具体的に説明する用語を付加してもよい。	language
90014	履歴	過去に設定した内容を再利用する場合の過去データの総称 注釈 1 他の語と組み合わせて“送信履歴”や“ジョブ履歴”などとして使用してもよい。	history
90015	フラップ	封筒のフタ部分のこと 	flap
90016	USBメモリー	複合機のUSB端子に挿して使用する外部記憶装置 注釈 1 保存されているデータをプリントしたり, スキャンしたデータを保存したりする。	USB memory

n) 部位名称

番号	用語	定義	対応英語 (参考)
99001	原稿ガラス 代替用語：原稿台ガラス	原稿を載せるガラス面	document glass
99002	原稿カバー 代替用語：原稿台カバー	原稿ガラス又は原稿台ガラスを覆う部位	document cover
99003	操作パネル	各種設定を行うための操作部位	operation panel
99004	自動原稿送り装置	原稿を自動的に原稿台に送るための装置 注釈 1 使用状況によっては“自動”を省略してもよい。	auto document feeder
99005	手差し (てざ)	封筒, フィルムまたは長尺といった用紙を少量セットす	bypass tray

	し)	る部位	
99006	給紙トレイ 代替用語：給紙カセット	<部位>用紙をセットする部位 注釈 1 給紙する事が分かる場合は“トレイ”又は“カセット”に省略してよい。	paper tray
99007	ソーター	用紙を自動的に仕分けする装置。	sorter
99008	フィニッシャー	ソート、ホチキス止めなどをするための装置	finisher
99009	…カバー	メンテナンスをするときに開く部位 注釈 1 “…”は任意の各部位の名称。 例 前カバー、フィニッシャーカバーなど。	cover
99010	電源	複写機又は複合機を使用するために電気の流れを通したり遮断したりするスイッチ 注釈 1 “電源”は部位の名称であり、形状は規定しない。 注釈 2 “主電源”スイッチがある場合は“電源”のみで電気の流れが遮断されることはない。	power switch
99011	主電源	“電源”スイッチとは別に、入力電源を直接ON/OFFするスイッチ 注釈 1 “電源”スイッチ OFF でも“主電源”スイッチ ON によって電源は供給される。 注釈 2 単独では使用しない。	main power switch
99012	トナーカートリッジ	トナー補給時に交換するトナーの入った容器	toner cartridge
99013	ガイド	用紙を固定又はサイズを検知するために用紙に沿わせる部位	guide
99014	取っ手	ユニットなどを手前に引き出すときにユーザーが持つ部位	handle
99015	レバー	ジャム処理時などにユーザーが動かす部位	lever
99016	ツマミ (つまみ)	つまむもの、つまみ持つ部位	tab
99017	ノブ	手で握り、回転できる部位	knob
99018	ダイヤル	つままずに指でまわすものの部位 注釈 1 通常、円盤状の回転体で構成される。	dial
99019	ビン	ソーターで用紙を受ける部位 注釈 1 “ビン”単独では使用しない。 例 ソータービンなど。	bin
99020	排出トレイ 代替用語：排紙トレイ	出力された用紙を受ける部位	output tray
99021	テンキー	コピー部数を入力するときなどに使用する、0から9までの数字キー、“*”及び“#”キーからなる操作部位	numeric keys
99022	ハードディスク (HDD)	複写機又は複合機本体内の記憶装置 注釈 1 “ハイデフィニション (高解像度など) の略 “HD” と区別するため、略す場合は “HDD” とする。	hard disk
99023	プリンター	<部位>印刷する部位	printer
99024	スキャナー	<部位>原稿を読みとる部位	scanner
99025	ストレージ	ハードディスク、SSD、eMMCなどの記録媒体のこと。	storage

5 用語の取り扱い

UI 用語のデザイン上，語義が変わらない範囲で，語句を追加又は省略することは，各社の判断で行ってもよい。

例 A 社は，このガイドラインで定義されている“両面”を，ドライバー画面で“両面印刷”と表記している。

参考文献

- [1] **JBMS-85** ユーザーインターフェイス用語作成ガイドライン
- [2] 外来語（カタカナ）表記ガイドライン（2015 年 9 月，一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会）

プリンター・複合機－ユーザーインターフェイス－用語 解説

この解説は、本体及び附属書に規定・記載した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1 制定の趣旨

事務機器標準化委員会ユーザーインターフェイス用語 TF（旧標準化センターUI 用語 WG）では、ユーザーが異なるメーカーのプリンター又は複合機を操作する際に、混乱を招かないように UI 用語の標準化を進めている。

1999 年に機能名称 16 語を選定して **JBMIA-TR-2** “UI デザインガイドライン” を制定した。その後改正を重ね、収録している UI 用語の数が 200 語を超えるまでになった。UI 用語 TF 参加企業における **JBMIA-TR-2** の使用実績及び、UI 用語 TF が別に定める **JBMS-85** “ユーザーインターフェイス用語作成ガイドライン” との併用を鑑み標準報告書（**JBMIA-TR**）の発展形として協会規格（**JBMS**）を制定するに至った。制定時に、機能名称 4 用語を追加し、2 用語の分類を修正し、1 用語の廃止を行った。

2 制定の経緯

この規格の基礎となる **JBMIA-TR-2** の制定から 2024 年までの改正経緯は、次のとおりである。

- a) 1999 年 4 月 1 日に、機能名称 16 用語についてガイドラインを制定した。
- b) 2000 年 10 月の改正では、基本機能名称に関する前回のガイドライン制定からの若干の修正と、新たな用語の追加を行った。さらに、ユーザーが触れる製品の部位名称に関する用語の追加を行った。
機能名称 1 用語を削除、5 用語を修正、13 用語を追加、及び部位名称 20 用語を追加した。
- c) 2004 年 1 月の改正では、これまでのコピー機能用語にプリンター機能用語を追加し、それらを本体操作パネル上で使用されている用語及びドライバーやユーティリティー上で使用されている用語についてまとめた。
機能名称を MFP 操作パネル用語とドライバー・ユーティリティー用語とに分割。MFP 操作パネル用語 43 用語、ドライバー・ユーティリティー用語 63 用語を追加した。
- d) 2006 年 5 月の改正では、これまでの印刷系（コピー／プリンター）機能用語に、一部標準化されていなかった用語及び新たに送信系機能用語を追加した。
また、テクニカルコミュニケーター協会のカタカナ表記検討ワーキンググループで推進しているカタカナ表記の長音の扱いについても、ガイドラインとして定め積極的に標準化を進めていくことを明記した。
送信系 18 用語及び印刷系 2 用語を追加した。“ホチキス”をガイドライン化（廃止用語から削除）した。
- e) 2009 年 8 月の改正では、これまでの印刷系（コピー／プリンター）機能用語に、2008 年 3 月及び

2009年3月にユーザー調査した用語，標準化されていなかった部位名称用語，紙折り系機能用語及びその説明図を追加した。

“説明図” ページを新設し，紙折り系用語の説明図6点を追加した。

- f) 2012年12月の改正では，その時点においても妥当な用語及び定義であるかという基準のもとに，すべての用語を見直した。その過程で，“MFP 操作パネル”及び“ドライバー・ユーティリティー”の分類を廃止した。また，検索性を上げて使いやすくするために，“分類番号”を追加して整理した。

機能名称1用語を削除，70用語を修正，1用語を追加した。部位名称1用語を修正した。“MFP 操作パネル”及び“ドライバー・ユーティリティー”の分類を廃止した。カテゴリ区分を追加した。

- g) 2016年2月の改正では，機能名称3用語を追加し，機能名称26用語の定義文の表記を修正した。
h) 2018年10月の改正では，機能名称25用語を追加した。ソフトウェアキーボードの小分類を追加した。

機能名称3用語“白黒”，“グレースケール”及び“圧縮率”の定義文の表記を修正した。英語の標準化の要望に対し，日本語用語で標準化されている用語について，各社の英語の実績を掲載した。

文書内のカタカナ表記を長音化で統一。

- i) 2020年10月の改正では，機能名称10用語を追加した。“情報処理端末”の小分類を追加した。
j) 2024年4月の改正では，機能名称10用語を追加した。機能名称2用語の定義文の表記を修正した。3用語の定義及び注意事項の“複合機”を“機器”に変更した。

3 審議中の特に問題となった事項

- a) “ファイル”及び“文書”について，次の2点の理由から，“文書”と“ファイル”との両者を登録した（JBMA-TR2:2009）。
- 1) 2009年3月のユーザー調査において，“TIFF，PDF など特定のフォーマットで生成されたデータ”と“機器内のハードディスクに設定された場所（ボックス）に保管して運用するデータ”とのいずれも“文書”より“ファイル”の支持が多かった一方で，“両者で用語を使い分けたほうがよい”という評価が“区別しなくてよい”を上回る結果が得られた。
 - 2) “文書”と“ファイル”とを使い分けている企業と“ファイル”でそろえている企業とのいずれも，現状の使い方を変えるのは難しいとの意向が確認された。
- b) JBMA-TR-2 から JBMS への移行に際しては，対応英語（参考）を一つに絞った。対応英語の選定にあたっては，各社における実用例を調査し，日本語用語に最も近い表現を選定した。日本語用語に近い表現がない場合には，定義に最も近い表現を選んだ。
- c) 附属書2制定の経緯j)において，用語の整合を図るため範囲の広い語に統一する対応が行われた。JBMA-TR-2 においてはこの対応で差し支えないが，JBMS-96 は用語の規格であるため，定義において“機器”という語を用いるのは適切ではないと判断した。JBMS-96 においては箇条1適用範囲（Scope）に，この規格の用語が適用される対象デバイスが明記されている。このため，各用語の定義においても“機器”ではなく，対象デバイスを明記することが適切であると判断した。
- d) 2000年にキヤノン株式会社によって“ホチキス”が商標登録されたため，一部の会員企業は使用を控えていたが，オフィスでの認知度が高く，オフィス機器のユーザーインターフェイス用語と

して適切であると判断し、推奨用語とした。また、キャノン株式会社からは 2005 年 5 月 11 日に商標権を行使しない旨が書面によって表明されたことから **JBMA-TR-2** に記載した。以後、登録された商標が更新されなかったため、現在は権利が消滅しており、使用上の問題はないと認識している。

JBMS-96 プリンター・複合機—ユーザーインターフェイ
ス—用語

編集兼

林 祥一郎

発行人

発行所 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

〒108-0073 東京都港区三田 3-4-10 リーラ ヒジリザカ 7階

Tel 03-6809-5010 (代表)